

## ご挨拶

### 鹿児島県理学療法士連盟 副会長 坂本一路

鹿児島県理学療法士連盟会員の皆さん、2021年明けましておめでとうございます。

昨年は新型コロナウイルスに翻弄された年でありました。今年も新型コロナウイルスに対してどこまで対応ができるか不透明ではありますが、会員・県民の皆さんと収束を願うばかりです。

さて、医療関係を取り巻く現状は、2020年から大きく変換しなければならない現状にあります。特に感染症に対する対処として、特措法改正の議論をはじめ早急に結論を出さなければならない課題が多々あると考えます。その中で医療関係として医師・看護師の課題は多く取り上げられましたが、我々理学療法士をはじめその他の医療関係者への注目が少なくなっている事はコロナ禍の中では仕方ないことでしょうか？

簡単な例では、マスクの支給において医師・看護師への配布より理学療法士など直接患者さんと接する（いわゆる濃厚接触）に対しては配布が制

限されたのは如何なものかと考え、私自身も悔しさを覚えました。

この様に今後我々は疾患を抱えている方以外にも予防の分野などでも「必要とされる職種」としてその地位を獲得する事は必須だと考えます。その中には職域・待遇など様々な課題を含みますが、基本的な設定は政治の場で決定されます。そのために我々の意思・声が政治に反映されるための活動が連盟活動です。

是非自分自身を守る事＝政治活動としてご理解ください。まず現状を把握して、選挙での投票で参加しましょう！

鹿児島県理学療法士連盟では、参加を期待しています。



鹿児島県理学療法士連盟 副会長  
坂本一路

## 皆で学ぼう！政治とは何か？

### 我が国の政治の仕組み

「君主制」や「独裁制」、中学校社会科の授業で出てきた言葉ですね。我が国の歴史を振り返ってみると、その多くの時代は「君主制」でした。平安時代は貴族階級。鎌倉・室町・江戸時代は武士階級。明治時代は天皇に政権が移って行きました。つまり、これまで日本の歴史の中では「絶対的な統治者」がテッペンに君臨し、ピラミッド型の階級社会を形成してきたこととなります。少し、中学時代を思い出してききましたか？

それでは、現在の日本はどうでしょう。「民主制」ということとなります。私たち国民一人一人が政治に参加しますが、「直接的」な参加ではありません。国民の代表者を選び、間接的に政治に参加します。このこ

とは第2号でも書かせて頂きました。「民主制」の中で、もう一つ大切な仕組みが「多数決」。これは何かを決める際に意見が分かれた時に、多数の意見を尊重する考え方です。だから自分たちの主張を通し易くするために選挙では一つでも議席を増や



そうと各党しのぎを削ります。

しかし、常に多数決が正しいとも限らない。これは私たちも普段の生活でも感じることはないのでしょうか。

もう一つ、思い出してみましょう。「三権分立」という仕組みを。

国の意思決定を行う最高機関である「国会」、法律を作る「立法」府とも呼ばれます。そしてそれを実行する機関、「行政」府とも呼ばれる内閣、国会が成立させた法律や、行政府の行為が憲法や法律に違法ではないか監視する役割を持つのが最高裁判所を頂点とした「司法」ということとなります。

選挙によって国会議員を選びますので、なんとなく「立法」と「行政」は関りがあるように思いますが、「司法」はどうでしょう？

思い出してください。「国民審査」があります。最高裁判所の裁判官が職責にふさわしいか判断する仕組み

です。投票数の過半数以上、「ふさわしくない」と判断された場合に、罷免されます。しかし、これまでの歴史の中で罷免された最高裁判所裁判官はいません。

さて、こうやって、それぞれが、それぞれの行為を監視しながら私たち日本の民主政治は日々行われています。

忘れてはならないことの一つに私たちの生活に身近な「地方公共団体」があります。昨年から新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、これまでよりも地方公共団体（都道府県や市町村）を「近く」に感じませんか。

この地方公共団体と国は法律上は対等な立場であることも忘れてはなりません。

この感染症で見えてきたもの。決して国だけでも解決できないし、地方公共団体だけでも解消できない問題があるということは感じているのではないのでしょうか？（文責 有村）

## 若い理学療法士へのメッセージ ～あなた達の明るい未来を願って～

今回は川内市医師会立市民病院 長嶺 英博先生より若い理学療法士の皆さんに熱いメッセージを頂きました。これまでの先生が歩まれてきた道を想像しながらお読みください。

激動の2020年が過ぎ新年が明けたと思ったら、もう2月ですね。

皆さん、如何お過ごしでしょうか？ 私は今年年男で9月に還暦を迎えます。大阪の大学病院に新卒として就職したのが、もう37年も前のことになってしまいました。

“光陰矢の如し”で、多くの記憶は忘却の彼方ですが、入職時のオリエンテーションの様子は今でもはっきり憶えています。その中でも、当時の薬剤部長が話された内容がとても印象的な言葉として記憶に残っています。

「私は長い間、薬剤師として働いて来て色々なことを経験しましたが、いつも精一杯対応してきたので、後悔するようなことは一つもありません。」と話されました。

当時の若輩者の私は、医療従事者としてとても前向きな発言だとは思いましたが、自分が将来そのような言葉を発することのできる理学療法士になれるのか全く想像ができませんでした。

では実際に37年を経てどのような気持ちになっているかということ、やっぱりそのような心境に達することはありませんでした。

沢山の失敗をし、多くの反省と後悔を繰り返してきました。もちろん色々な意味で精一杯努力してきたつもりですが、やっかいなことに自分のその姿

が周りから肯定的に評価されたとも限りません。ここまで理学療法士として続けてこられたのは、多くの患者さんの声（姿）と友人達や家族の支えがあったからだったと思います。

60年の人生と37年の理学療法士人生を振り返って言えることは、これまでの全ての経験があって今が在るということです。特に当時は辛かったり、嫌で嫌でしかたなかったことを経験したからこそ今に繋がっていると実感することが度々あります。

若い理学療法士の皆さん、これから色々な経験をされるとと思います。その中には辛くて嫌なこともあるでしょう。でもそれが将来のあなたの糧になる日が必ず来ますから、未来を信じて日々をお過ごしください。

心から若い皆さんの明るい未来を願っています。



# これからの連盟「学び」について OODAループ 応用編 開催予定！

昨年10月30日（金）、「OODAループ基礎編」をテーマに鹿児島県理学療法士リーダー塾を開催いたしました。講師、進行は青年局が務めさせていただき、コロナ禍ということもあり、YouTubeライブ配信での研修方式に挑戦させていただきました。

研修会のポイントとして、OODAループは①予測不可能な環境下で迅速な判断をする際に適している思考法であること。②自分の持っているスキルを活かせる思考法であること。③フレームワークであり明確な枠組みにより議論のズレが少ない思考法であること等を中心にお伝えいたしました。参加者の皆様からもコメント欄にたくさんの感想やご意見をいただき、講師サイドの私たち自身も非常に学ぶことの多い研修会となりました。ご参加、ご協力ありがとうございました。そこで今回、第2弾として鹿児島県理学療法士リーダー塾「OODAループ応用編」を企画いたしました。講師には上梶祐典（うわがきゆうすけ）氏。

上梶氏は2017年より始良市のコミュニティFM放送局「あいらびゅーFM」を開局し、代表取締役として活躍、その一方でMBCラジオにコメンテーターとしても出演されています。私は、前回の研修会の中でOODAループ（O：見るD：わかるD：決めるA：動く）の中で最も重要なプロセスは、見て理解するという部分であるということをお伝えしましたが、ラジオのよ

うなマスメディアは不特定多数の人に対して、得た情報を理解し伝達するプロであり、OODAループ応用編として素晴らしいお話を聞くことができると考えております。基礎編を受講されていない方も、差し支えない内容となっておりますので、たくさんのご参加をお待ちしております。日程・申し込み方法など、詳細は後日ご案内いたします。よろしくお願いいたします。

## 開催日決定

令和3年3月5日（金）

午後7時から（約1時間）

オンラインミーティングZoomにて

詳細は後日ご案内致します

ホームページにも掲載予定

## 連盟も色々と活動しています。

### 「みやじ拓馬衆議院議員と語る会」「連盟役員会」のご報告

私たち連盟は、各団体と協同して「重度障害者等の医療費助成制度を求めろかごしまの会」を支援しております。なかなかこの制度も鹿児島県で認められることもできず、9月そして12月議会でも「継続審議」ということで、未だ目的を達成できていない状況です。そのような状況をリハビリテーション議員連盟としてもご尽力いただいている宮路拓馬衆議院議員にご相談したところ、「当事者の皆さんの声を聴こう」と言って頂き、今回オンラインミーティングを令和2年12月29日に開催（連盟事務局長 広報局長参加）しました。

我々と共に行動している当事者の皆様は、「なぜ（この活動に）声を上げたのか」「現制度では困るのはなぜか」ということを自分の言葉で伝え、それに対して国政や地方行政の経験から宮路議員の見地でお話頂き、短い時間ではありましたが、非常に有意義な時間でありました。そして今後もこの活動に協力頂けるようにもなりました。

まずは目的を達成するまで活動し続けなければなりません。

毎月、実行委員会も開催（連盟会長 連盟事務局長 広報局長が参加）しております。この様子は我々連盟のホームページや「重度障害者等の医療費助成制度を求めろかごしまの会」のホームページにも掲載しております。是非ご覧ください。

この問題は、当事者にとって、その周りを支援する人たちにとっても生活を守るためには必要な活動です。皆様にも色々ご協力をお願いすることもあると思います。その際は、積極的にご参加ください。お願いいたします。



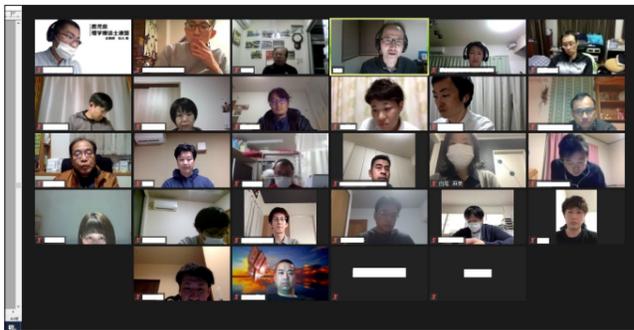
こちらのQRコードよりホームページが閲覧できます



みやじ拓馬議員を囲む会  
「重度障害者等の医療費助成制度を  
求めろかごしまの会」と共に

### 令和3年1月25日 連盟役員会開催

連盟役員会を開催しました。コロナ感染症の影響でオンラインミーティングシステムを利用して開催しました。昨年はようやく10月に入ってから活動を始めることができました。それが「OODAループ」研修会です。そして12月には県内で活躍している「専門・認定理学療法士（脳卒中）」に質問ができる研修会も開催しました。内容的には非常に学びの深いものでしたが、いずれも参加者が少なかったというやや残念な結果でありました。また3月も研修会を開催する予定ですので、次回は多くの方がご



参加いただけるように準備していきたいと考えていきたいと思っております。

また、執行部より本年のまとめと令和3年の活動計画についても説明がありました。まだまだ連盟活動が鹿児島県理学療法士協会にも浸透していないことも課題として挙げられました。如何に魅力ある活動ができるかを今後も模索しながら活動していきます。そして、次世代に活躍して頂く人材育成も今後活動としては必須です。そのための青年局から組織編成・改革の案も提示されました。「我々の未来は我々の手で」そして、それは国民皆様の生活を安心で豊かにできるという信念で活動していきます。

### 連盟活動はホームページから

皆様、是非、鹿児島県理学療法士連盟ホームページをご覧ください。

本県の連盟活動は全国の支部の中でも上位です。フラッと見て頂ければ、連盟活動の大切さがお分かりいただけたと思います。またHPから入会もできます。

次回発行は4月を予定しています。



ホームページより入会できます